



市議会だより

第173号

平成29年8月15日

鳥栖駅とその周辺の未来像は

鳥栖市の玄関口として賑わう鳥栖駅とその周辺。その未来像を描くため、さまざまな議論が行われています。

6月定例会市議会

議会報告会では
活発な意見交換

一般質問 .. 6~10

- ◆ 第4回議会報告会 2
- ◆ 視察報告 4
- ◆ 6月定例会概要 5
- ◆ 常任委員会審査報告 5
- ◆ 議決結果 11
- ◆ 意見書・陳情・表彰 12
- ◆ 議会日誌・編集後記 12

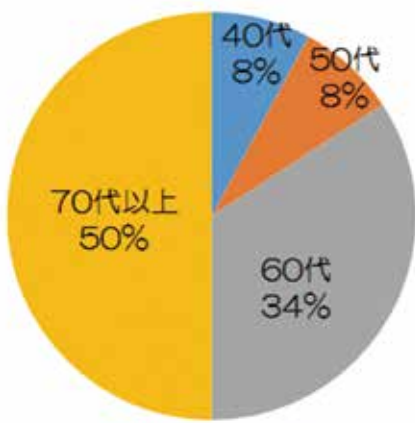
市議会だよりの
バックナンバー



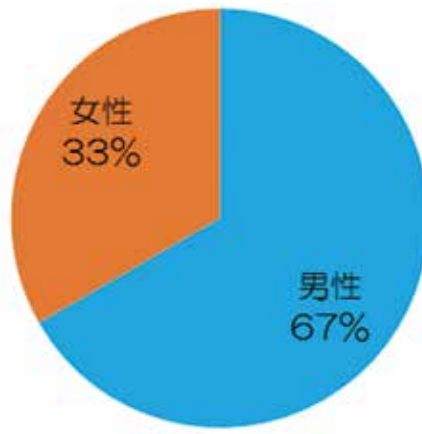
「第4回 鳥栖市議会議会報告会」

～鳥栖市の未来を語り合おう～

を開催いたしました



参加者の年齢



参加者の性別

4月22日(土) 14時から、基里地区、旭地区の西まちづくり推進センターにて、「第4回 鳥栖市議会 議会報告会」(第一部報告会、第二部広聴会)を開催し、47名の方に参加いただきました。

当初予算の中からトピックスを説明

第一部の報告会では、各常任委員長より当初予算の中から、

- 総務文教常任委員会
- ・ 市庁舎整備
- ・ 小中学校のトイレ整備
- 建設経済常任委員会
- ・ 新産業集積エリア整備
- ・ 味坂スマートインター整備
- ・ 都市計画道路整備

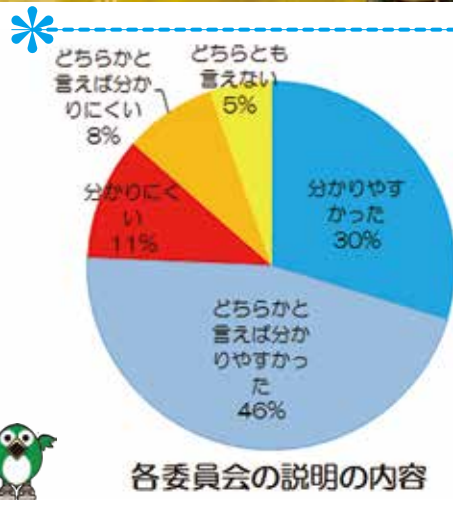
基里会場の様子。各常任委員長が当初予算の中からトピックスの説明



- 厚生常任委員会
- ・ ガン検診
- ・ 私立保育所施設整備
- ・ 旭まちづくり推進センター改修事業

をトピックスとして報告しました。アンケート結果では、「報告会がわかりやすかった」と答えられた方は76%と、一定の評価をいただきました。

内容については、「説明があっさりしていた」「パワーポイントの地図が見にくかった」「資料の文字が小さく読みにくい」「報告会の内容は事前に知りたい」「小中学校トイレ改修事業の内容が知りたかった」ので良くわかりました」などの意見をいただきましたので、次回開催へ向けて内容を工夫していきます。



各委員会の説明の内容





旭会場での第二部広聴会の様子

第二部の広聴会では、議員が各テーブルに分かれ、「鳥栖市の未来を語り合おう」をテーマに、フリーで市民の皆様の声を聞き、進行する意見交換（座談）を行いました。

市民の多様な意見を聞きました

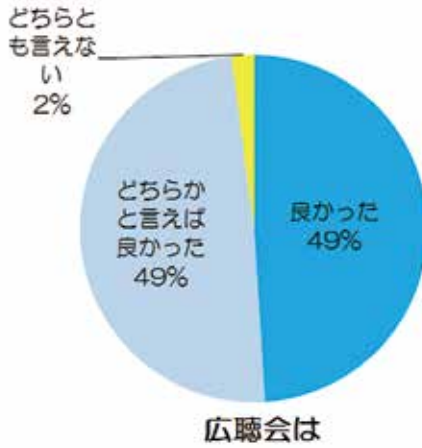


広聴会についてのアンケート結果では、反省点となるご意見もいただきましたが、概ね「よかった」と答えられた方が98%と、高評価をいただくことができました。

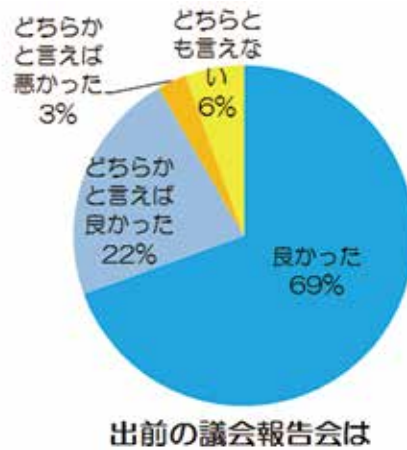
内容については、「しっかりと市民のことを思って議会を運営してほしい」「市政の状況がよく分かった」「今後は市議会だよりを読むようにしたい」「議会を身近に感じることができてよかった」「今後も開催してほしい」「タイムスケジュールをきちんと伝えほしい」などの意見がありました。

情報公開と説明責任を果たすべく

前回の弥生が丘地区から出前形式的の議会報告会を開催しております



議会報告会リハーサルの様子



ですが、今回は基里・旭地区の2ヶ所で、議員も2グループに分かれ同時開催をいたしました。今後も、より多くの会場での開催を検討していきます。ぜひお気軽にご参加ください。



鳥栖市議会の活動に
今後とも期待ください！



鳥栖市議会では、議会基本条例にある、「市民参加の機会の拡充を図り、市民の多様な意見をもとに政策立案、政策提言等の強化に努め、市民に対する情報公開を積極的に行い、またその説明責任を十分に果たすべく」議会報告会をより充実したものにしてまいります。

先進地視察・行政視察報告

議会運営委員会…5月9日～11日（滋賀県彦根市・滋賀県長浜市・兵庫県篠山市）
 建設経済常任委員会…5月17日～19日（千葉県野田市・茨城県常総市・茨城県牛久市）
 厚生常任委員会…5月17日～19日（千葉県松戸市・茨城県龍ヶ崎市・滋賀県近江八幡市）

議会運営委員会 先進地視察

滋賀県彦根市では、議会運営・議会改革について、視察プロジェクトチームを設置した取り組みを学びました。

滋賀県長浜市では、議会運営・議会改革・議場整備状況、開かれた議会への取り組みを学びました。兵庫県篠山市では、タブレット端末導入後の活用状況や、ICT化の推進について学びました。

今後、開かれた議会を目指す取り組みや、市議会へのタブレット導入に向けて活かしてまいります。



議会へのタブレット導入をはじめICT化の波は議会運営の分野にも押し寄せている

建設経済常任委員会 行政視察

千葉県野田市では、環境にやさしい農業と農産物直売所「ゆめめぐり野田」の取り組みで、宣伝にメディアを利用していました。

茨城県常総市では、農業を活性化するためのまちづくりを目指す常総市圏央道常総インターチェンジ周辺地域整備事業での土地利用の計画がされていました。

茨城県牛久市では、市出資法人うしくグリーンファームの取り組みで市が100%出資し、市長が代表取締役として設立されています。

視察で学んだことを鳥栖市の農業振興に活かしてまいります。



うしくグリーンファーム事務所とバイオディーゼル燃料製造施設を見学

厚生常任委員会 行政視察

千葉県松戸市では、介護予防・日常生活支援総合事業の取り組みの説明を受け、行政の制度改革を推進しておられました。

茨城県龍ヶ崎市では、子育て環境日本一、子どもと住みたいまちづくりを目指し、様々な支援施策に取り組みされていました。

滋賀県近江八幡市では、まちづくり協議会による地域づくりについて、市長の公約で市税の1%が地域まちづくり支援交付金として支出され、各協議会で活発な取り組みがなされていました。

今回の視察で学んだことを市の施策に活かさないか、市執行部と協議していきます。



子育てガイドの発行や保育士への家賃補助など先進的な施策を行う龍ヶ崎市

6月定例会

6月1日から20日まで開かれ、市長提出議案19件、議員提出議案6件の審議、一般質問が行われました。

6月定例会では、今年度の補正予算や専決処分事項、条例案3件などの議案を審議しました。

補正予算は、補助事業については、私立保育所特別保育事業等補助金、国庫支出金の内示に伴うふるさと・しごと創生事業などの経費が計上されました。

また、単独事業としては、コミュニティ事業補助金、公民館類似施設整備補助金、農村交流推進事業、滞在型農園施設等改修事業、

鳥栖駅周辺整備事業、防災教育を中心とした実践的安全教育事業などの経費が計上されました。

市長提出議案は

原案のとおり可決

補正予算などの議案は、各常任委員会に付託され、議員による活発な質疑が行われた後、すべての議案が原案のとおり可決されました。

平成29年度 一般会計補正予算

【主な歳入】	
市税	8,400万円
繰入金	3,440万7千円

補正額 4,581万1千円
予算合計 233億4,416万1千円

主な事業と予算額

- コミュニティ事業補助金.....170 万円
西新町公民館の音響設備等の整備に対して補助を行うもの
- 公民館類似施設整備補助金.....1,072 万円
永吉町公民館の建替え、弥生が丘東区公民館の新築、儀徳町公民館の改修に対して補助を行うもの
- 私立保育所特別保育事業等補助金.....1,104 万3千円
子育て支援センターの新設に対して補助を行うもの
- 農村交流推進事業.....134 万4千円
コカ・コーラウエスト鳥栖市民の森周辺でのイベントの開催等の経費
- 滞在型農園施設等改修事業.....1,350 万円
滞在型農園施設と地域休養施設の改修等の経費
- ふるさと・しごと創生事業.....299 万6千円
創業しやすい環境づくりを進め、新たな就労機会の創出を図るもの
- 鳥栖駅周辺整備事業.....8,500 万円
鳥栖駅周辺の利便性の向上等を図るための鳥栖駅周辺整備の基本設計の経費
- 防災教育を中心とした実践的安全教育事業.....75 万円
鳥栖中学校区で防災教育を中心とした安全教育を行うもの
- 主な減額補正予算
道路橋梁費.....△9,369 万9千円

鳥栖駅周辺まちづくり基本構想における都市計画道路整備の方向性についての決議

本決議は、補正予算で市長から提案された鳥栖駅周辺整備事業の予算執行に際し、鳥栖駅周辺施設

の計画だけに留まらず、東西連携の更なる推進のために、鳥栖駅周辺の都市計画道路整備の方向性を早急に示すことを求めるものです。

総務文教常任委員会の委員会可決を経て、本会議で可決されました。

常任委員会での予算説明や質疑内容

総務文教



期完了
商工振興課 新産業集積エリア整備事業の着実な推進

厚生



まちづくり推進課 鳥栖駅周辺整備事業に関して、基本設計委託料の内容、新駅舎の考え方と現駅舎の取り扱い、東西連携の経緯と考え方
教育委員会事務局 トイレ改修事業に関して、PTA等への周知

こども育成課 子育て支援センターに関する今後の設置計画

市民協働推進課 コミュニティ助成事業に対する本市の応募件数及び事業採択までの経過

建設経済



文化芸術振興課 定住・交流センターに関する営繕工事の内容、施設営繕工事の全体計画

国保年金課 国民健康保険の都道府県化後の財政状況と保険税率、滞納者への対応

農林課 滞在型農園施設大規模改修設計業務の改修予定内容、紅葉ふれあいイベントの昨年度の実績と今年度の計画内容や周知方法等、市民の森展望広場火災の原因と対応等
建設課 轟木・衛生処理場線の早

税務課 鉄道事業の課税標準の特例の内容、軽減措置の改正による
税収への影響

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対し、市政全般にわたり、事務の執行状況、将来に対する方針等についてたずねるものです。



インターネット録画中継はこちら→

今定例会では、18人の議員が一般質問を行いました。ここでは、その中から抜粋したものを発言者順に掲載しています。

掲載した内容は、タイトルを含め、各議員本人が要約したものです。

詳しい内容は、インターネットの録画中継でご覧いただけます。ぜひご覧ください。



横断歩道カラー化について
伊藤克也(新風クラブ)

問 本市では、平成23年から通学路の路側帯カラー化を進められ、通学路の安全確保の有効な手段として、市民の皆様にも浸透していると感じております。

そこで、安全対策を更にもう一歩、進めるために横断歩道のカラー化に取り組んでいただきたい。現在の所、学校周辺の横断歩道のカラー化は、行なわれておりません。早期に、学校周辺の整備を進めていただきたい

いとと考えておりますが、本市の考えをお聞きます。

答 本市といたしましては、現在のカラー化と同様に横断歩道を着色

すること、ドライバーへの注意喚起が、より一層高まるものと考えております。通学路の安全対策として、どのような取り組みができるのか、交通管理者である警察と協議しながら、歩行者の安全性の向上に努めてまいりたいと考えております。
このほかの質問 ◆部活動指導員制度の導入について



将来に備え今できることを
樋口伸一郎(自民クラブ)

問 ①先進地である、茨城県龍ヶ崎市の視察で受けた「子育て環境日本一」の取り組みを参考に、鳥栖市独自でもできる、地域ニーズに沿った保育環境と、子育て環境のさらなる具体策を検討できないか伺います。

答 保育士確保、待機児童解消、子育て世帯や事業者の支援等、子育てに関連するさまざまな環境に対する施策を検討してまいります。



いじめ対策について
松隈清之(天桜会)

問 文科省の資料によるといじめ発見のきっかけの内、学校関係者が直接発見したケースは全体の14.8%に過ぎない、半分以上はアンケートにより発見されている。反面、被害児童を除く児童生徒からの情報3.2%に留まり、情報を持っている児童生徒が傍観者になっ

ている可能性がある。児童生徒を傍観者にさせない取り組みが重要ではないか。また、絶対にいじめを許さない

答 命にかかわる極めて重大な問題であると認識している。いじめを受けた子どもはもちろん、いじめを行った子ども、傍観者となっていた子ども、いじめの情報を伝えてくれた子ども、すべての子どもたちを絶対に守り抜くという気持ちを持って、それぞれにその思いを伝えることが大切であり、指導する側にそのような強い思いがないと、どのような指導を行っても効果を発揮しないと考えている。

という教職員の覚悟が伝わるような徹底的な取り組みが必要だと思いが教育委員会の見解を求める。

問

②通学路となる儀徳町の旧JA旭支所前の側溝整備の進捗確認、自転車ヘルメットの購入助成の検討要望、交通対策協議会の担い手不足改善、以上3点を伺います。

答

儀徳町の側溝整備については、現在発注済みであり、9月末までの工期で工事を進める予定です。自転車ヘルメットの購入助成については、近隣市町の状況や、必要性、妥当性、緊急性等を踏まえ、判断してまいります。交通対策協議会の担い手不足改善については、情報発信や担い手育成の取り組みを進めてまいりたいと考えております。



**小中学校トイレ
洋式化工事**
中川原豊志(自民クラブ)

問 小中学校のトイレについて
は、平成29年度より順次改修工
事を行うとされているが、改修工
事の範囲と今後の予定及び、男子トイ
レを全て個室洋式とする事となつた
経緯について伺う。

答 小中学校トイレ洋式化につ
きましては、普通教室棟及び屋内
運動場のトイレを改修工事すること
とし、今年度は、鳥栖小学校、若葉
小学校、旭小学校、基里中学校の4

校の工事を行い、他の鳥栖北小学校、
田代小学校、基里小学校、麓小学校、
鳥栖中学校、鳥栖西中学校の6校に
ついて改修工事の設計業務を行なう
こととした。又、男子トイレの個室
洋式化については、家庭のトイレ状
況や排せつの重要性から児童生徒が
より使用しやすいトイレを整備する
ことを念頭におき検討し、児童生徒、
保護者向けアンケートを実施し、賛
成が全体の60%を占めた事で男子ト
イレを全て個室洋式化した。なお
管理棟や、屋内運動場には一部小便
器を残すこととした。

このほかの質問◆旭地区要望



**交通指導員等の
報酬等の問題**
内川隆則(社会民主党議員団)

問 特に交通指導員や民生委員の
担い手が大変厳しいものがあり
る。これは、報酬や手当てがあまり
にも安いのではないか。これらを上
げるには市の三役や議員の報酬審議
会、市役所の職員の人事院勧告に
そつてしか上げられないのか。もし、
これらと関係なしに上げられるな
ら、是非検討をしてもらいたい。

答 非常勤特別職やその他の活動
費等は各々の業務の事情が異な
る事から、これまで通り担当課での
個別による対応をしていきます。し
かし、交通指導員や民生委員、児童
委員は特に、各々その都度対応に
応じられているので、業務依頼の内
容を具体的に活動内容や範囲で選
択決定を行い、市民との共通理解
を得ながら、そして他市の業務内
容と活動を参考にしていきたい。

このほかの質問◆国家戦略特区申請
の状況について／市街化区域につ
いて／「住みたくなるまち」に向
けた子育て支援の取り組みについて



**鳥栖駅舎の
保存活用について**
尼寺省悟(日本共産党議員団)

問 文化財保護審議会の提言によ
ると、「駅舎の保存と事業との
最善の調整をはかれ」とあるが、ど
のような調整をしたのか。また「現
駅舎の保存活用について検討する」
といわれたが、どのような検討を教
育委員会はしたのか。

答 関係機関との協議の中で、駅
前広場に現駅舎の保存スペース
として保存する」とあるが、可能か。

を確保するのは、困難。現地保存以
外の保存活用、移築保存、イメージ
再現、部材の保存・展示などの保存
活用方式について、場所、規模、費
用などについて整理し、鳥栖市の歴
史を象徴するような保存活用ができ
るよう努めたい。

復原については、宮内庁に保存さ
れた平面図があり、写真や詳細な調
査で駅舎の復原は可能になると考え
ている。

このほかの質問◆京町の火災と防災
道路について／今後の事業展開につ
いて



**京町地区のまちづ
くりについて**
国松敏昭(公明党)

問 京町地区の中央市場商店街
は、駅周辺まちづくりの計画に含
まれないことであるが、これまで
事業の展開が棚上げされてきた経緯
がある。現在、下水道が埋設されて
いない道路もあると認識している
が、駅周辺の整備に付随して、せめ
て、当該商店街の環境整備に繋がる
手立てが必要でないか。見解を問う。

答 当該商店街には、現在も幅員
狭小な道路が多く残っており、

個人が所有する道路も存在すること
から、一部では下水道の埋設に至
っていない区間もあるなど、居住環境
の改善が必要であるものと考えらる。

本年4月に発生した店舗等火災に
より、危機感を抱かれた方も数多く
おられて、改めて周辺住民の方々の
迅速な避難活動及び救急医療活動の
支援のためのアクセス道路の確保が
重要である。道路の役割や機能を強
化することが肝要である。地元の協
力をいただき道路整備等の取り組み
について今後検討していく。

このほかの質問◆まちづくり推進セ
ンターの今後について



子育て・骨髄移植
ドナー支援
下田寛(新風クラブ)

問 ①子育て支援について、児童センターと子育て支援センターの機能管理と連携強化や、厚労省が推進している「子育て世代包括支援センター」の設置を行い、産前産後から小学校低学年程度を範囲とした支援体制を構築すべきである。

答 児童センターと子育て支援センターは、目的や対象に差はあるが、相互に連携を図ることを視野に今後の在り方を検討していきたい。



鳥栖らしさを
盛り込んだ駅舎
久保山博幸(自民クラブ)

問 「おもてなし」というフレーズが流行りましたが、駅や駅前広場は鳥栖の玄関口として遠来の客を迎えるおもてなしの表情がなければならぬ。又、日々通勤通学等で利用する市民にとっても親しみある駅であって欲しい。加えて鉄道で栄えたこれまでの鳥栖の歴史や風土を駅や駅前広場にどう表現し受け継いでいくのか?。残念ながらそういうソフト面については今回の鳥栖駅周

い。また、子育ての切れ目ない支援体制についても関係課で協議を行っている。学校教育課とも連携しながら、子育て世代包括支援センターの設置に向けて検討して参る。

問 ②骨髄移植ドナー支援事業を創設し、救える命を救うための後押しを早急に行うべきである。

答 ドナー登録を増やし、骨髄を提供しやすい環境づくりは重要で、確認、調査し考えて参る。
このほかの質問◆市内公共施設の会議室利用について/まちづくりの推進センターについて

辺まちづくりの基本計画案では触られていない。「鳥栖の歴史や風土」をどう活かすのか?」その点につき、検討委員会の中ではどの様な議論がなされたのか。

答 「鳥栖駅周辺地区まちづくり」に関する市民アンケート調査」を実施した結果、利便性向上や安全確保を求める声が多かった。一方、「歴史や文化を感じられる地区」については約7%という結果であった。調査結果も踏まえて検討した結果、検討委員会に対し、駅前に歴史的な表情を持たせるなどについての議論はお願いしていない。



防災訓練の
実施状況について
柴藤泰輔(天桜会)

問 地震や台風といった自然災害や火災、交通事故などといった災害にいつ遭遇するかわかりません。こういった災害の対応は日頃の訓練が必要です。そこで本市において防災訓練の実施状況についてお尋ねします。

答 本市参加が、平成28年度は13町区で、小学校区単位で取り組んでいるところもあります。本来なら各町区で少なくとも

年に1回は、避難訓練を実施してもらおうと指導して頂きたい。ところで政府は、北朝鮮の弾道ミサイルの着弾を想定した住民避難訓練を行うよう要請した。今後、ミサイル攻撃を想定した避難訓練を実施する予定があるのかをお尋ねします。

答 特化した避難訓練は予定しておりませんが、弾道ミサイル落下時の行動について地域住民が取るべき行動の周知を図っていきたいと考えております。

このほかの質問◆不登校生徒の対応について/鳥栖駅西駐輪場について



鳥栖駅周辺整備と
東西連携!!
古賀和仁(自民クラブ)

問 鳥栖駅周辺まちづくり基本計画では、駅舎、自由通路、駅前広場、東側の土地利用と駅前の道路の整備については、見直しが進められているが、あわせて東西連携の道路についても整備すべきと思つ。

特に飯田蔵上線(高橋)については、慢性的交通渋滞で、緊急車両の通行にも支障をきたしている。そこで現在の取り組み状況と、今後のスケジュールについてお尋ねします!!

答 本年度中には、将来の道路網整備の方針を決定したい。現在、国、県と道路ネットワークについて、合同会議の中で協議をしている。鉄道と交差する道路の重要性は、十分に認識しており、検討懇話会の議論をふまえ、できるだけ早い時期の事業化が必要と考えています。

このほかの質問◆地域運営学校(コミュニティ・スクール)への取り組みについて/国家戦略特区に対する国の回答状況と、他の手法の検討について



**障害者支援
について**
藤田昌隆(新風クラブ)

問 中原特別支援学校・鳥栖田分校の通学手段、医療的ケアを必要とする児童数と対応する看護師数また医療的ケアを必要とする児童への学校対応、軽度発達障害児に対する市の対応・支援、また支援する団体等への市対応について、市として親の負担を少しでも軽くできる支援が必要ではないのか。県内では武雄市が4月に申請しています。

答 中原特別支援学校へは本年

6月からスクールバス対応、看護師数においては、医療的ケアを必要とする児童38名に対し20名で対応、田代分校はゼロ。また障害者差別解消法により、県の特別支援学校を対象としていた看護師の配置補助も、新たに公立の小中学校も補助対象、国から3分の1補助が地方自治体になります。軽度障害児また支援団体に対しては、市直営ひかり園サービス、障害者通所サービス、支援団体については市民活動支援補助金を平成21年から交付して、とす市民活動センターでは様々な相談を受けています。



**利便性も高い
東口設置を**
齊藤正治(自民クラブ)

問 鳥栖駅の東側からの利用者は一日2,100人に対し、橋上や2階駅の場合40億円かかり、東口設置の場合5億円で済み、距離も橋上化の場合の東側から5、6番ホームまでは、約157m、約3.3分。東口設置の場合、5、6番ホームまで約33m、約0.8分程度で済み、駅利用者の利便性が悪い方が、事業費はるかに高い。最小の投資で最大の効果を上げることが行政の責任

である。また今回の鳥栖駅周辺まちづくり構想は、東西連携による中心市街地の活性化が主たる目的であり、鉄道で分断された都市計画道路の整備が一体となって整備されることであり、道路については、現在検討されているところであり、駅の整備だけ急ぐ必要はないのではないかと。整備手法の比較検証と併せ、道路網について課題の抽出を行い、見直しや再編も含め検討の必要があり、東西連携を考える場合、駅周辺と道路は密接に関係しており、人、車、活性化などセットで考えるべきものと認識している。



**まなびの教室・
通級指導教室**
小石弘和(誠和クラブ)

問 通常学級に在籍しつつ、別教室で学習支援等を行う通級指導教室は、平成5年に始まり、以来四半世紀が過ぎようとしている。本市での実施状況と、今後の増設や中学校への開設の考え方を伺います。

答 本市は、言語障害がある児童を対象に「ことばの教室」を平成5年4月に開設し、現在鳥栖北小学校に1教室、若葉小学校に1教室設置している。また、学習障害等の

ある児童を対象に「まなびの教室」を平成19年10月に開設、現在鳥栖小学校に2教室、若葉小学校に1教室設置している。中学校実施に関しては、12名の「まなびの教室」の希望者があり、必要性は十分認識しており、平成25年から県教育委員会に要望を続けている。今後もしっかりと実態を把握し、必要性を訴えていきたい。

意見 通級指導を必要とされている方のために、より一層強く要望されていくことを願います。
このほかの質問◆新産業集積エリア整備事業について



**入学準備金の
3月支給と増額を**
成富牧男(日本共産党議員団)

問 入学児童生徒学用品費(入学準備金)のアンケートの結果はどうだったのか。再三、入学前(3月)支給を求めてきたが、予算措置は12月補正で可能であり、年間予算の総額が膨らむわけでもない。来年度入学から速やかに実施すべきでは。県内では、佐賀市、鹿島市、武雄市、白石町、小城市、神崎市、みやき町が3月支給を実施又は予定。

答 アンケート結果は、3月支

給がよいと回答した方が約6割を占めている。この結果を受け、入学前の3月前倒し支給に向け、鋭意検討していく。
問 入学準備金について、国の補助単価が約2倍に引き上げられた。これまで国の単価を基準としてきた本市も、支給単価を引き上げるべきでは。
答 見直しの必要性については認識している。今後調査・研究していく。
このほかの質問◆国家戦略特区について/市道のり面等の草刈りについて



誰一人置き去りにしない支援

飛松 妙子 (公明党)

問 市ホームページやパンフレットでの啓発・周知は、支援への入り口。発達障がい児支援を伺う。

答 発達障がい児の状況に合わせたサービス提供の支援に努めている。発達障がいについて関心が深まるよう、啓発にも努めていく。

問 5月15日「佐賀県ひきこもり地域支援センター」が開設した。本市の包括的な支援体制の構築は？

答 ひきこもりに特化した対応は



地区別構想とまち協の役割

江副 康成 (天桜会)

問 第6次総合計画にありませぬ鳥栖スタイルの確立、その一つ「市民協働を推進するまちづくり」の方策として、まちづくり推進協議会を鳥栖市が設立し5年が経ちました。都市計画マスタープランにおける地区別構想のベースは肝いりで出来たまちづくり推進協議会ですべきではありませんか？

答 都市計画マスタープランは、地域住民を含む多様な主体が、

していない。今後、ひきこもり地域支援センターと連携し支援を行う。

問 平成30年度から就学援助における準要保護児童生徒への入学前に支給するための準備を進めていく事が必要であるが、いつ行つのか？

答 12月補正予算までに、方針決定を行い、準備を進めていく。

問 災害時、避難所や病院等に乳幼児のミルクなどお湯の確保が重要。お湯等飲料を提供できる災害対応型紙コップ式自販機の設置及び災害協定締結を検討すべきでは？

答 先進自治体の事例を参考に調査・研究していく。

都市の課題や方向性を共有することによって、都市計画の決定、実現に繋げていくものでございます。現在、市内8地区のまちづくり推進協議会において、防犯・防災、交通安全、環境美化、子育て、健康、福祉など、広範囲にわたり、課題の解決に向けた取り組みを進めていただいております。地域の分類に当たりましては、議員ご指摘の点も踏まえ、地域住民との合意形成、他施策との連携などを念頭に置きながら、最適な地域設定を行いたいと考えております。

このほかの質問◆洪水ハザードマップと農業用ため池



市民ニーズの反映を！

西依 義規 (新風クラブ)

問 アンケートとパブリックコメントだけでは、市庁舎に対する市民ニーズの抽出はできないのではないかと。また、パブリックコメントの段階で、8ヶ所のまちづくり推進協議会を中心に市庁舎整備基本計画の説明会をすべきでは。来年度公募の市民による市庁舎基本設計に市民ニーズを反映させることを目的とした「基本設計市民ワークショップ」を開催すべきでは。

答 アンケートは、専門的な見地から意見をいただく市庁舎整備基本計画策定委員会にて内容を検討し、無作為に抽出した市内に居住する2000名の方に対し、郵送で実施した後、計画素案の段階でパブリックコメントを行い、市民の皆様のご意見を伺い、市庁舎整備基本計画を策定していきます。また現時点では、市民ワークショップの開催は予定していませんが、検討の各段階等にて、市民の皆様のご意見を丁寧にお伺いし、その意見を踏まえ、計画策定に取り組んでいきます。

スマートフォンやタブレットで市議会が見られます！

市民のみなさまにっそう市議会を身近に感じていただくため、平成29年6月定例会から、スマートフォンやタブレットへの市議会中継の配信をはじめました。

また、市議会の会期日程や議決結果なども載せております。

ぜひご覧ください。



■市議会中継



■会議の結果



6月定例会の付議事件と議決結果

◆全会一致（全員賛成）で可決されたもの

件名		議決結果
市	平成29年度一般会計補正予算	原案可決
	平成29年度下水道事業会計補正予算	
	専決処分事項の承認 [国民健康保険特別会計補正予算]	承認
長	市職員の育児休業等に関する条例の一部改正 [育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律の一部改正に伴うもの]	原案可決
	市職員の退職手当に関する条例の一部改正 [雇用保険法の一部改正に伴うもの]	
	佐賀県市町総合事務組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約の変更 [団体の数の増加及び規約の変更に関する協議を開始するもの]	
提	農業委員会委員の任命（11件） [松隈政信氏（牛原町）、松本政吉氏（神辺町）、上種正博氏（上峰町）、久富正ノ介氏（下野町）、山口保氏（真木町）、内田信久氏（神辺町）、佐藤敏嘉氏（神辺町）、大石則子氏（江島町）、栗山明信氏（村田町）、堤泰子氏（本町）、有馬賢洋氏（高田町）]	同意
	専決処分事項の承認（市税条例等の一部改正） [地方税法の一部改正等に伴い、専決処分したもの]	承認
出	専決処分事項の承認（国民健康保険条例の一部改正） [地方税法施行令の一部改正等に伴い、専決処分したもの]	
議員提出	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	原案可決
	地方バス補助の上限引き下げに反対する意見書	

◆賛否が分かれたもの

件名	議員名																議決結果				
	西 依 義 規	伊 藤 克 也	下 田 寛	飛 松 妙 子	樋 口 伸 郎	柴 藤 泰 輔	江 副 康 成	久 保 山 博 幸	中 川 原 豊 志	久 保 山 日 出 男	内 川 隆 則	藤 田 昌 隆	国 松 敏 昭	尼 寺 省 悟	成 富 牧 男	小 石 弘 和		松 隈 清 之 仁	古 賀 和 仁	齊 藤 正 治	森 山 林
議 員 提 出	若者も高齢者も安心できる年金制度の実現を 求める意見書	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	否決
	ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める 意見書	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	○	○	○	○	○	原案可決
	「共謀罪」と同趣旨の「テロ等組織犯罪準備罪」 の廃止を求める意見書	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○	●	○	○	●	●	●	●	●	否決
	鳥栖駅周辺まちづくり基本構想における 都市計画道路整備の方向性についての決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

○=賛成 ●=反対 ※議長（中村直人）は表決には参加しません

議会日誌

4月

- 6日 総務文教常任委員会
- 10日 市議会だより編集委員会
- 11日 厚生常任委員会
- 14日 総務文教常任委員会
- 19日 佐賀県市議会議長会（小城市）
市議会だより編集委員会
- 22日 第4回議会報告会
- 26日 議会改革検討会
議会運営委員会
- 27日 九州市議会議長会定期総会（熊本市）

5月

- 9日～11日 議会運営委員会先進地視察
（彦根市、長浜市、篠山市）
- 16日 鳥栖駅周辺整備調査研究特別委員会
- 17日～19日 建設経済常任委員会行政視察
（野田市、常総市、牛久市）
厚生常任委員会行政視察
（松戸市、龍ヶ崎市、近江八幡市）
- 22日 建設経済常任委員会
- 23日 佐賀県市議会議長会（東京都）
- 24日 全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 25日 会派代表者会
議会運営委員会

6月

- 1日～20日 **6月定例会**
- 1日 市議会だより編集委員会
- 12日 議会改革検討会
- 19日 議会改革検討会
- 20日 市議会だより編集委員会
- 28日 市議会だより編集委員会

■他市議会からの視察来庁【4月～6月】

柏原市（大阪府） 総社市（岡山県）
和泉市（大阪府）
以上3市議会 [来庁者合計25名]

意見書

■教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度 拡充に係る意見書

提出：社民、共産

■ギャンブル等依存症対策の抜本的強化を求める 意見書

提出：自民、天桜、公明、誠和

■地方バス補助の上限引き下げに反対する意見書

提出：新風、社民、共産

※上記の意見書は、国会及び関係行政庁に送付しました

陳情

■「地球と人間を守る社会体制創り」の為に地球 社会建設決議陳情書

荒木 實

■被爆72周年原水禁運動への協力要請 原水爆禁止佐賀県協議会

会長 徳光 清孝

■「鳥栖市におけるマスタープラン作成」についての 要望書

鳥栖商工会議所 会頭 中富 舒行

表彰

■全国市議会議長会表彰

議員在職15年以上 小石弘和 議員
国松敏昭 議員
松隈清之 議員

編集後記

もっとわかりやすく丁寧に伝えたい！
「開かれた議会」を目指し試行錯誤で作成しました！
ぜひその手に取ってご覧ください！（樋口 伸一郎）

次回定例会は9月上旬からの予定です。

ぜひ傍聴にお越しください。ご意見はこちらまで。

電話 0942-85-3525
メール gikai@city.tosu.lg.jp